Creative Enzymes®

# ネイティブボバイン因子X活性化型 (Xa)

*Cat. No. NATE-0250*

*Lot. No.* (See product label)

## *はじめに*

| | |
|---|---|
| *□明* | ファクターXaは、プロトロンビン内のArg-ThrおよびArg-Ile結合の加水分解を触媒し、活性トロンビンを生成します。比較的□密な認識配列はIle-Glu（またはAsp）-Gly-Arg-↓-Xです。ターゲットタンパク質の立体構造に□じて、他の塩基性残基で切断することもあります。ファクターXaは、認識配列のアルギニンの後にプロリン残基が続く場合、切断しません。 |
| *用途* | 融合タンパク質は、一般的に因子Xa切断可能なIle-Glu（またはAsp）-Gly-Arg-↓-X配列で発現されます。通常、1 mgの融合タンパク質は、37℃で2.5時間、10 µgの因子Xaとインキュベートすることができます。 |
| *別名* | EC 3.4.21.6; 9002-05-5; トロンボキナーゼ; プロトロンバース; プロトロンビナーゼ; 活性化血液凝固因子X; 自己プロトロンビンC; トロンボプラスチン; 血漿トロンボプラスチン; 因子Xa; 活性化スチュアート-プロワーファクター; 活性化因子X; 凝固因子Xa |

## *製品情報*

| | |
|---|---|
| *種* | 牛 |
| *由来* | 牛血漿 |
| *形態* | 水性グリセロール溶液 |
| ***EC番号*** | EC 3.4.21.6 |
| ***CAS登□番号*** | 9002-05-5 |
| ***最適pH*** | 7.6-8.0 |
| *最適温度* | 37°C |
| *代謝□路* | 共通□路、特定の生物系; 補体および凝固カスケード、特定の生物系; 外因性□路、特定の生物系 |
| *機能* | カルシウムイオン結合; ホスファリピッド結合; セリン型エンドペプチダーゼ活性 |
| *単位定義* | 1単位の活性化された因子Xは、pH 8.3、37°CでN-ベンゾイル-L-イソロイシン-L-グルタミン酸-L-グリシン-L-アルギニン-p-ニトロアニリンから1.0 µmoleのp-ニトロアニリドを□分放出します。 |

## *保管・発送情報*

| | |
|---|---|
| *保存方法* | −20°C |